

なら女性活躍推進倶楽部事業【奈良県】

個別事業費	1,135 千円
交付金額	567 千円

地域の実情と課題

- ・県の女性の就業率は依然全国最下位であり、県の調査結果では、固定的性別役割分担意識は全国に比べ高く、男女ともワークライフバランスの実現が困難と感じている。
- ・就業希望がありながら働けていない女性が約15%存在する一方で、企業では人手不足が深刻となっている。そこで、就業・活躍を阻害する要因を、①女性の希望と企業の求めるものに齟齬があること、②「女性活躍」の必要性を経営者が認識しているところと十分認識していないところが二極化していること、との2点と分析した。

事業の特徴

県内の女性活躍の気運を高めるとともに女性が個々の希望に応じて活躍できる環境を整備するため、官民をあげて取り組む地域における女性活躍の総合的な支援体制として、平成29年12月、「なら女性活躍推進倶楽部」を創設し、県内企業・事業所に会員登録いただき、男性も女性も働きがいを感じ、いきいきと働き続けることができる職場づくりに取り組んでいる。

事業の効果

- ・企画委員や支援団体等へのヒアリング、他自治体等への視察を実施。県内企業の職場環境改善の現状や課題を把握でき、企業トップの意識改革の必要性やより効果的なイベント開催の方法等について知ることができた。得た知見をもとに、実施したワクワクWORKフェスティバルでは、スキームや講演内容を工夫し、高い満足度や好事例の横展開に繋がられた。またその他にも女性就労支援事業や来年度事業にも活用していきたい。
- ・倶楽部統一取組として、オレンジリボン・パープルリボンキャンペーンを実施し、計7企業に参加いただいた。
- ・今年度は15社が登録を行い、3月時点の登録企業数は197企業となった。

目的・目標

県内のより多くの企業が性別にかかわらず誰もが働きやすい職場となることを目的に取り組んでおり、令和6年までになら女性活躍推進倶楽部会員数200という目標を掲げている。

連携団体

なら女性活躍推進倶楽部支援団体

- ・事業への広報協力
- ・女性活躍に向けた取組を実施

【構成】

経済・労働関係	16団体
人材育成関係	2団体
行政	3団体

今後の課題

「なら女性活躍推進倶楽部」は設立より7年が経過し、設立当時の目標を令和7年度4月に達成予定。しかし、融資金額の上限引き上げの要件や公共調達加点項目となっているといったメリットから当会員となっている企業もあり、会員企業の意識や取組状況にばらつきがある。「就業を希望する女性が働いている割合」を高めるには、当倶楽部のあり方やイベントの実施方法について、再度検討が必要である。

また働きやすい職場づくりやジェンダーギャップ解消等に関する取組を企業内で行っていただくために、県内企業トップ向けのセミナーや優良事例を取り上げるワークショップなどの取組を実施していきたい。

事業の概要

【なら女性活躍推進倶楽部運営事業】

●倶楽部企画委員会として、企画委員である5企業3団体及び県内企業2社に訪問し、県内企業の職場環境改善に関する現状や課題感、現在進めている取組についてヒアリングを行いました。

●年間を通して、なら女性活躍推進倶楽部登録会員の募集・登録・更新作業を行いました。

(令和6年度登録企業数: 15社)

●倶楽部及び会員企業に関する魅力発信及び求人情報の提供の場として「なら女性就職応援ナビ」を運営しました。



●女性が働きやすい職場環境改善を企業で進めていただくための場づくりの参考として、豊岡市の「ワークイノベーション推進会議」の視察を行いました。(令和6年7月8日(月))

●ワークイノベーション会議関係者でもあり、内閣府男女共同参画推進会議の有識者でもある小安美和氏との意見交換会を実施しました。(令和6年8月5日(月))

●より効果的な女性と企業のマッチングイベントの開催のために、「女の転職type」のイベントに参加し、イベントの視察及び事業者へのヒアリングを行いました。(令和7年2月1日(土))

【女性をはじめ誰もが働きやすい職場づくり及び就労促進】

ワクワクWORKフェスティバル

会員間交流及び取組の横展開の場として、ワクワクWORKフェスティバルを開催しました。

★テーマ:

「今、経営に必要なこと・・・利益を総合的に考える」

★講師:

合同会社WLBC関西 CEO福井正樹さん

★事例発表:

社会福祉法人佐保会 鹿ノ台佐保保育園

医療法人 博愛会 介護老人保健施設かつらぎ

★参加者: 23名



ワクワクWORKフェスティバル

大学生向けセミナー

大学生に県内企業の魅力を伝える機会の創出を目的に、セミナーを行いました。

★登壇企業: 株式会社タフ

★参加者: 16名

オレンジリボン・パープルリボンキャンペーン

倶楽部統一取組として11月の「児童虐待防止月間」(オレンジリボンキャンペーン)、11月12日～25日の「女性に対する暴力をなくす運動」(パープルリボンキャンペーン)の啓発を会員企業が企業内外で独自の取組を実施しました(参加企業数7社)。

また、その取組を県HPにおいて周知しました。